

EWI-USB 導入ガイド

EWI-USB とは



●EWI USB(2008 年発売)

唯一、USB ケーブルでパソコンに繋いで使用する必要がある EWI モデルとなり、音源は内蔵されていない。製品には Garritan 社製サウンドプレイヤー「ARIA(アリア)」ソフトウェアが付属しており、運指モードは EWI 式、EVI 式、サキソフォン式、フルート式、オーボエ式から選択し演奏可能(ARIA からモード切替)

従来の EWI にはあったポルタメントスイッチは省かれているが、ARIA 内設定により、ポルタメント機能を割り当てることが可能。また、EWI-USB で演奏可能な音域は 5 オクターブとなっている。

価格は歴代 EWI の中で最も安価で、気軽に始められる※EWI シリーズ最初の一台として最適。

※EWI シリーズ(アカイ・イーウィ・シリーズ)は AKAI professional のウインドシンセサイザーの型番・商品名。

販売完了品:EWI1000/EWV2000/EWI3000/EWI3000m/X335i/EWI3020/EWI3020m/EWI3030m/EWI4000s

現行機種:EWI USB/EWI5000/EWI Solo

EWI シリーズの始まり:

ナイル・スタイナーが製作したスタイナーホーン(トランペットタイプの※ウインドシンセサイザーで、EVI1000 の原型)が原型であり、独特のコントロール体系を持っていたため人気を博した。その優れた表現力に木管楽器奏者が注目、木管楽器タイプのコントローラーの製作をスタイナーに依頼し、完成させたものが EWI1000 の原型である。当初は完全ハンドメイド。だが人気が出たため生産が追いつかなくなり、AKAI がライセンスを買取り、EWI1000 として製品化した。マイケル・ブレッカーや伊東たけしも開発に携わり、T-SQUARE の歴代サクソフーン奏者(伊東たけし、本田雅人、宮崎隆睦)が使用していることで知られている。

※ウインドシンセサイザー (Wind Synthesizer) は、管楽器の奏法でシンセサイザーをコントロールできる電子楽器。

システム条件、基本仕様など

最新の情報(システム要件、互換性情報など)については、akaipro.com をご覧ください。

■動作推奨環境(2021/8 現在):

・Mac: OS X(10.4 - 10.15、11 Big Sur)*OS により要アップデート [ダウンロード](#)、Intel プロセッサー *M1 チップ搭載の mac には非対応

・Windows: XP - 10

(両 OS 共にハードディスクに 1.2GB 以上の空き容量が必要)

■付属ソフトウェア「ARIA」音色数(82 種類):

- Woodwinds/木管楽器(Sax-11 種類、Clarinet-6 種類、Flute-3 種類、DoubleReed-3 種類)
- Brass/金管楽器(Horn-7 種類、Trombone-5 種類、Trumpet-8 種類、Tuba, Susaphone)
- Strings/弦楽器(Cello-2 種類、DoubleBass-2 種類、Viola、Full Strings)
- Pitched Percussion/有音程打楽器(Chimes-2 種類、GlockenSpiel-2 種類、HandBell-2 種類、Xylophone)
- Synthesizer/シンセサイザー・電子音-22 種類

■運指:

EWI 方式(リコーダ/サキソフォン準拠)、EVI 方式(トランペット準拠)、サキソフォン、フルート、オーボエ

■感度調整:

ブレス・ゲイン、バイト・ゲイン、バイト AC ゲイン、ピッチバンド・ゲイン、キー・ディレイ(※ 製品付属の「ARIA」にて可能)

■付属品:

USB ケーブル、取扱説明書、ソフトウェア DVD-ROM(収録ソフトウェアは[ダウンロード](#)可能です。)、スリンガー(ネックストラップ)、クリーニングクロス

■センサー:

- ・マウスピース:エアプレッシャー・レベル・センサー & バイト・センサー
- ・ノートキー:タッチセンサー(13 キー)
- ・オクターブ・ローラー:タッチセンサー(5 オクターブ)
- ・バンド・アップ/ダウン:タッチセンサー

■ハードウェア:

- ・ボタン:RESET ボタン
- ・端子:USB スレーブ・ポート
- ・電源:USB バス・パワー(100mA 5V)
- ・その他:着脱式ケーブル・クラッチ
- ・サイズ:42mm(W)x 41mm(D)x 586mm(H)
- ・重量:610g

1. ARIA ソフトウェアの導入

導入手順

1. 付属ディスクを使用してインストールするか、EWI-USB [製品ページ](#)からソフトウェア本体、
●Windows 用 [EWI USB「ARIA Software」for Windows](#)
●Mac 用 [EWI USB「ARIA Software」for Mac](#) のいずれかをダウンロードし、インストールまで終わります。
※Mac OS 10.15 – 11.6 の場合は [EWI USB「ARIA Software」Update for Mac OSX \(Catalina\)\[v1.959\]](#) をインストールします。(2 番でご案内しているアップデートの必要はありません。)

※ブラウザのセキュリティ設定によって製品ページ内のダウンロードリンクをクリックしてもダウンロードが始まらない何も起こらない場合、リンク上で右クリック>名前を付けてリンク先を保存を選択してください。
2. 次にアップデートファイル Windows 用 [EWI USB「ARIA Software」Update for Windows \[v1.005\]](#)、または Mac 用(OS 10.14 まではこのアップデートの導入が必要) [EWI USB「ARIA Software」Update for Mac OSX \[v1.006\]](#)、をインストールします。
3. (Windows のみ) 標準ドライバーでは発音遅延が起こりますので、オーディオインターフェースをお持ちでない場合は [Asio4all](#) の導入をお勧めいたします。ダウンロードしてインストールを行ってください。※リンク先・ページ中段から安定版 2.14 が入手可能。<https://www.asio4all.org/>

※Mac の場合は ASIO 導入の必要はありませんので次の『ARIA を起動する』へ進んでください。

23 MAY 2017: VERSION 2.14 RELEASED!

- Combined 32/64 bit version, supports Win 98SE/ME/2k/XP/MCE/2003/XP64 and Vista/Windows 7/Windows 8.x/Windows 10 x86/x64
- There is just one single change in this version. If your system is not affected, there is no reason to upgrade. Localized versions will not be provided, for the very same reason.



ASIO4ALL 2.14 – English

※ハードウェアメーカーがそれぞれのオーディオインターフェース/ハードウェアに対応したドライバーを配布していますので、導入済みでしたら必要ございません。

※asio4all の使用方法や詳細に関しましてはサポート対象外となります。

メモ: 必ずソフトウェア本体をインストールした後にアップデートファイルをインストールしてください。

最近ではスマートフォン等のアプリでダウンロードとインストールが一括して行われることが多いかと思いますが、PC/Mac ではダウンロードはソフトウェアの入手、インストールはソフトウェアの導入として別々に行われます。また、実際に使えるようになるまでにはインストール後に、

- ・MIDI コントローラーやキーボードを選択/設定(ソフトウェア等で MIDI コントローラーを使用するために必要。接続しただけでは反応しません。)
- ・サウンドの出力設定(デフォルトでは PC のスピーカー等が設定されていますが、任意の出力先を設定・オーディオインターフェースなどをお持ちの場合に必要)、等々あります。

■初めての電子楽器、EWI、音楽制作、DTM に挑戦される方には難しく感じられることもあるかと思いますが、一つ一つ確認していくことで大抵のことは解決しますので順番に確実に進めていきましょう。

Windows で asio4all を導入されている場合

環境設定/Preference にて選択可能です。

Preferences

Input MIDI Devices

- ☐ Akai Network - MIDI(in)
- ☐ Akai Network - DAW Control(in)
- ☒ EWI-USB(in)

Output MIDI Devices

- ☐ Microsoft GS Wavetable Synth(out)
- ☐ Akai Network - MIDI(out)
- ☐ Akai Network - DAW Control(out)
- ☒ EWI-USB(out)

Audio Device API: ASIO

Audio Device: ASIO4ALL v2

Stereo Pair: 1-2

Sample Rate: 44100 Hz

Buffer Size: 64

OK

ASIO とは

ASIO「Audio Stream Input Output」はドイツのSteinberg 社が策定したドライバー規格です。

Windows 搭載PC でASIO 対応ソフトウェアや機器を使用する際に機能的・音質的に最高のパフォーマンスを得られるドライバーで、Windows での音楽制作用のサウンドドライバーとして広く普及しています。

Windows には標準で搭載されているDirectSound、MME、WDM、WASAPI、USB Audio 2.0、DirectX などのサウンドドライバーがあり、通常の音楽・動画再生だけであれば全く問題ありませんが、シビアな音楽制作の場ではこれらWindows 標準ドライバーのままでオーディオインターフェースやMIDI キーボードを使用すると遅延(レイテンシー)が発生し演奏や録音に大きな影響を及ぼします。

また、ソフトウェア内部のバッファサイズ設定を調整することで遅延(レイテンシー)を改善できることもありますが、PC のスペックによっては処理仕切れずに音切れやノイズが発生する場合があります。

こういった問題を解決する為に ASIO ドライバーの導入が必要となります。ハードウェア(オーディオインターフェース)にはそれぞれに対応したドライバー(ASIO を含んだ)が配布されていますので、必ずダウンロードしてインストールを済ませておきましょう。

また、ソフトウェア側の設定で使用する製品の専用ドライバー/ASIO を必ず選択しておきましょう。

2. ARIA を起動する

EWI-USB を USB ケーブルを使用して Windows、または Mac と接続し ARIA を起動します。
ARIA 起動の際は、EWI-USB 本体のノートキーなどを触らないようにしてください。

起動直後の状態で、音色は何も選択されていません。※画面は Windows の場合です。



- 4 つの Empty と表示されているところをそれぞれクリックすると音色リストが開きます。
- 最大で 4 つの音色をレイヤー(重ねて)して鳴らすこともできますので 1 音色では得られない複雑な響きのサウンドを得ることもできます。
- それぞれのレイヤー個別に(Vol)ボリューム/(Pan)パンニング/(reverb)リバーブ設定が可能。
- それぞれのレイヤー個別に MIDI チャンネル(CH01 - 04)設定が可能。OMNI から切り替えます。



**起動したらまず、音色を選択する前に、
 接続した EWI-USB の設定やサウンドの出力設定を行いましょう。**

環境設定/Preferences の設定

- Windows の場合:ソフトウェア左上の Tools から Preferences を開きます。
- mac の場合:ファインダー左上の EWI USB から Preferences を開きます。

下図を参照して頂けますでしょうか。赤で囲われた部分がこれから設定していく部分になります。

左図が Windows の場合、右図が Mac の場合になります。

- EWI-USB(in)、EWI-USB(out)にチェックを入れます。(Windows の場合)
- Microsoft GS Wavetable Synth(out)はチェック外します。(Windows の場合)
- Audio Device API は ASIO に切り替えます。(Windows の場合)
- Audio Device は ASIO4ALL v2 に切り替えます。(Windows の場合)
- LLC EWIUSB(in)/(out)両方、EWI USB(in)の全てにチェックを入れます。(Mac の場合)

Preferences

The Windows Preferences window is divided into two main sections: MIDI and Audio. In the MIDI section, under 'Input MIDI Devices', 'EWI-USB(in)' is checked and highlighted with a red box. Under 'Output MIDI Devices', 'Microsoft GS Wavetable Synth(out)' is unchecked and highlighted with a green box, while 'EWI-USB(out)' is checked and highlighted with a red box. In the Audio section, 'Audio Device API' is set to 'ASIO' and 'Audio Device' is set to 'ASIO4ALL v2', both highlighted with red boxes. Other settings like 'Stereo Pair' (1-2), 'Sample Rate' (44100 Hz), and 'Buffer Size' (64) are also visible.

Preferences

The Mac Preferences window shows MIDI and Audio settings. In the MIDI section, both 'Akai Professional, LLC. EWI-USB(in)' and 'EWI USB(in)' are checked, with the checkboxes highlighted by red boxes. In the Audio section, 'Audio device' is set to 'Built-in Output', highlighted with a red box. Other settings like 'Stereo pair' (1-2), 'Sample rate' (44100 Hz), and 'Buffer size' (64) are also visible.

mac内蔵スピーカーから音を出す設定

オーディオインターフェースをお持ちの場合

下図はあくまでも一例になりますが、例えば M-AUDIO AIR192/4 オーディオインターフェースをお持ちの場合、Audio Device から接続しているオーディオインターフェースを選択しサウンドの出力先として設定します。

A screenshot of the 'Audio Device' dropdown menu in the Windows Preferences window. The menu is open, showing a list of available audio devices. 'M-Audio AIR 192 4 ASIO' is selected and highlighted in blue. Other visible options include 'ASIO4ALL v2', 'FL Studio ASIO', and 'MPC Renaissance ASIO Driver'.

オーディオ・インターフェースとは

オーディオ・インターフェースは PC から音声信号を出力するための装置で、これを使用することで PC 内部のノイズの影響を軽減し高音質で演奏を聴いたり録音することができます。また、PC に直接 USB で接続した際に発生する演奏と発音の遅延（レイテンシー）を大幅に軽減できるので、ストレスなく演奏を楽しめます。機種によっては、電子楽器 / PC 間の演奏情報のやり取りをするための MIDI 入出力端子を搭載したオーディオ・インターフェースもあります。



◀ M-Audio M-Track Duo
2in/2out のオーディオ・インターフェース



◀ M-Audio AIR192|6
MIDI 端子搭載の 2in/2out
オーディオ・インターフェース

▼インターフェースなし



【用意するもの】 EWI 本体 / PC / USB ケーブル 接続図

USB ケーブル 1 本で PC と接続するシンプルな方法です。PC のスピーカーやヘッドホンで音を出します。

[接続図]



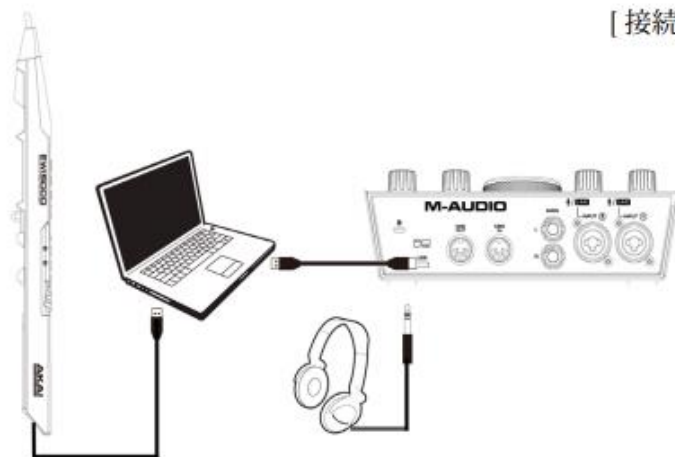
▼インターフェースあり



【用意するもの】 EWI 本体 / PC / USB ケーブル×2 / オーディオ・インターフェース / ヘッドホン

オーディオ・インターフェースを組み込んだ接続方法です。EWI はコントローラーとして PC に USB で接続し、オーディオ信号は PC からオーディオ・インターフェース経由で出力されます。

[接続図]

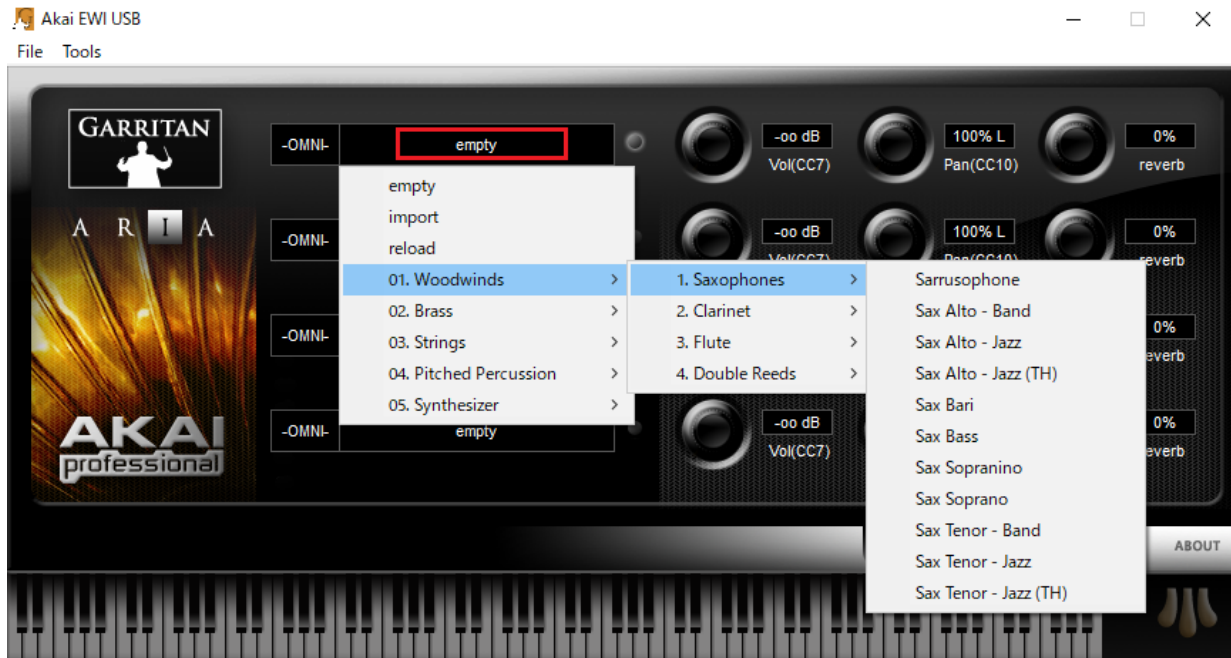


3. ARIA で音色を選択する

ARIA ソフトウェアには 82 種類の音色が内蔵されています。

- Woodwinds/木管楽器 (Sax-11 種類、Clarinet-6 種類、Flute-3 種類、DoubleReed-3 種類)
- Brass/金管楽器 (Horn-7 種類、Trombone-5 種類、Trumpet-8 種類、Tuba, Susaphone)
- Strings/弦楽器 (Cello-2 種類、DoubleBass-2 種類、Viola、Full Strings)
- Pitched Percussion/有音程打楽器 (Chimes-2 種類、Glockenspiel-2 種類、HandBell-2 種類、Xylophone)
- Synthesizer/シンセサイザー・電子音-22 種類

下図、赤枠 empty スロットをクリックすると系統ごとでまとめられたサウンドリストが表示されますので進んでいただき、音色を選択します。



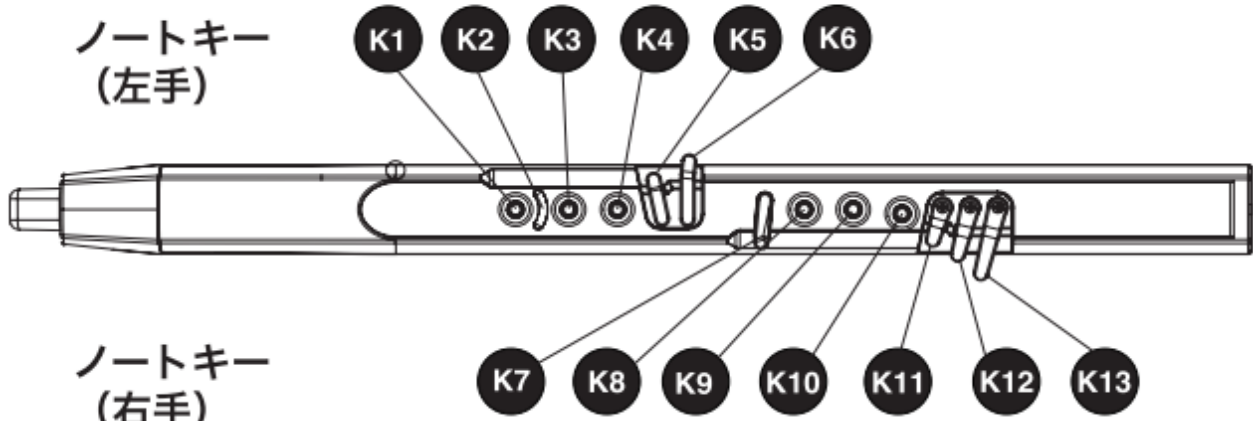
■音色を選択するとソフトウェア上の鍵盤が白く表示されるようになります。これが音色の音域になり、EWI-USBを吹くと音が出ます。または、この鍵盤部分をマウスクリックすることでも音を出すことができます。さらに音をレイヤーしたい場合は空いているemptyスロットをクリックして音色を選択していきます。



4. EWI-USB で演奏する

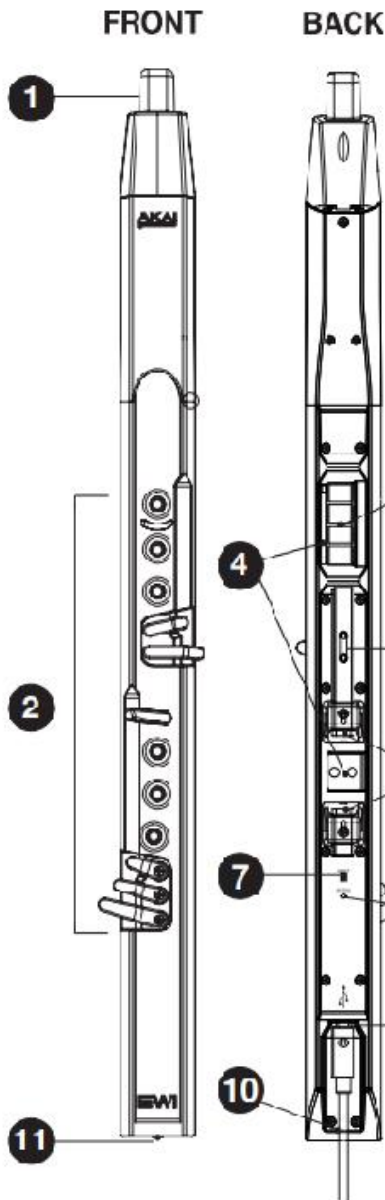
■ノートキー・ダイアグラム

ノートキー
(左手)



ノートキー
(右手)

各部の名称と機能



1.マウスピース

吹き口です。マウスピースの中にはビブラート・センサーが入っていて、マウスピースを咄む事でビブラート効果を得る事ができます。

注意:マウスピースを強く噛み締めると故障の原因になります。

2.ノート・キー

音程を決めるためのタッチセンス・キーです。下の3つは上部のネジを緩めて調整する事が出来ます。

3.オクターブ・ローラー

演奏範囲のオクターブを決定するセンサーです。演奏中は常にこのローラーに触れている必要があります。

4.アース・プレート

右手用(下部の四角い金属)と左手用(オクターブ・ローラーの横の細長い金属)があり、演奏中はこれらどちらかに常に触れている必要があります。

5.スリング・マウント

ここに同梱のスリッガー(ネック・ストラップ)を装着します。

6.ピッチベンド・プレート

演奏時に上部もしくは下部にあるプレートに触ることで音程を上下させる事が出来ます。

7.リセットボタン

このボタンはEWI USBのノートキーのセンサーやコントローラー側の発音不具合が発生した時に押します。このボタンを押すと、EWI USB本体のピッチ情報のリセットと、外部のソフトウェアなどに対し、「オール・ノートオフ」と「リセット・コントローラー」メッセージを送信します。長く押したままにすると、ノートキーと各センサーの再キャリブレーションを行います。再キャリブレーションの際は

EWI USBのプラスチック部分を持ち、金属部分に手が触れない様注意して下さい。

8.ステータスLED (STATUS)

EWI USBとコンピュータが接続されている時に点灯します。

9.USB接続端子

この端子とお使いのコンピュータのUSB端子を同梱のUSBケーブルで接続します。接続するとステータスLEDが点灯します。この接続をする事でEWI USBとコンピュータの間でMIDIデータの送受信を行います。

重要! EWI USBは接続時に、キー、ローラー、プレートなどの接触部分を自動的に再キャリブレーション(感度の再調整)をします。その際、上記のコントローラーなどに触れてしまう事でキャリブレーションの失敗をしてしまい、ピッチやセンサー感度の調整不良状態になってしまいますので、EWI USBを接続時はプラグを挿す前に、本体の先端プラスチック部分を手で掴んだまま、USBケーブルを差し込んで下さい。

ヒント: EWI USBが静電気の影響などによる誤動作を起こしたときは、一度EWI USBからUSBケーブルを抜き、もう一度挿し直して下さい。

ヒント: USBハブ等を介してEWI USBを接続し、上手く認識されない、または正常に動作しないなどの問題が発生する可能性があります。EWI USBはパソコン本体のUSB端子へ直接接続する事をお奨めいたします。

10.USBケーブルクリップ

EWI USBに接続したUSBケーブルが演奏中抜け受け落ちない様このクリップで留めます。

11.ブレス排出口

マウスピースに吹き込まれた息は内部の管を通してEWI USB本体最下部にあるこの穴から排出されます。演奏中はこの穴をふさいでしまわないよう注意しましょう。

演奏時、アースプレートには必ず触れている必要があります。(4.アースプレート参照)

(下図参照)デフォルトの運指は「EWI」で音色にかかわらず調は「C」になります。EWI 以外の運指に関しては後述。

EWI

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)							OCTAVE SHIFT ROLLERS
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	
 B ^b	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	UP0DOWN
 B	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 B ^b alt.	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 C	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 C ^{alt.}	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 C [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 C [#] alt.	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 D	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 D [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 E	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	○	◐	◐	◐	
 F	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	○	○	◐	◐	◐	
 F [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	○	●	○	◐	◐	◐	
 G	●	◐	●	●	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 G [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 A	●	◐	●	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 B ^b	●	◐	●	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 B ^b alt.	●	◐	○	○	◐	◐	◐	●	○	○	◐	◐	◐	
 B ^b alt.	●	◐	○	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 B	●	◐	○	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 C	○	◐	●	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 C [#]	○	◐	○	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 D	○	◐	○	○	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	

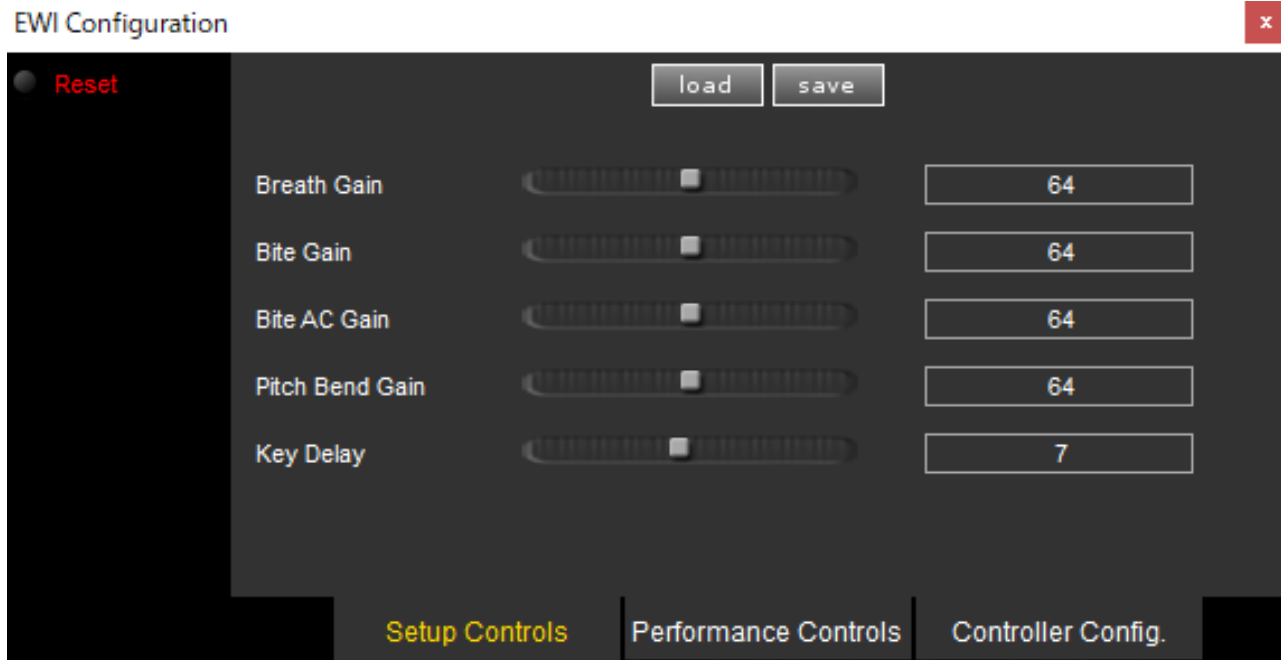
5. EWI-USB の各設定と調整について

運指を変更する場合、または各設定を調整する場合は EWI Configuration を開きます。

- Windows の場合:ソフトウェア左上の Tools から EWI Configuration を開きます。
- mac の場合:ファインダー左上の EWI USB から EWI Configuration を開きます。

下のタブで 3 つのウインドウを切り替えます。現在選択されているタブは黄色になります。

■Setup Controls(セットアップコントロール)



■Reset:デフォルトの EWI 設定に戻します。

■Load(読み込み):以前に保存した SysEx ファイルを読み込みます。セットアップコントロールのデータ(このセットアップコントロールタブの設定)のみを含む。

■Save(保存):現在のセットアップコントロールデータを SysEx ファイルとして保存します。これにより、このセットアップコントロールタブの設定のみが保存されます。Aria ではさまざまな SysEx ファイルを保存できるので、保存ファイルの名前を明確にしておくと、どのような種類の設定か(つまりどこでロードできるか)すばやく確認ができ、便利です。

■Breath Gain(ブレスゲイン):EWI USB のブレスセンサーのゲインレベルをソフトウェア上で決定します。設定値が高いほど、息に対する感度が高くなります。

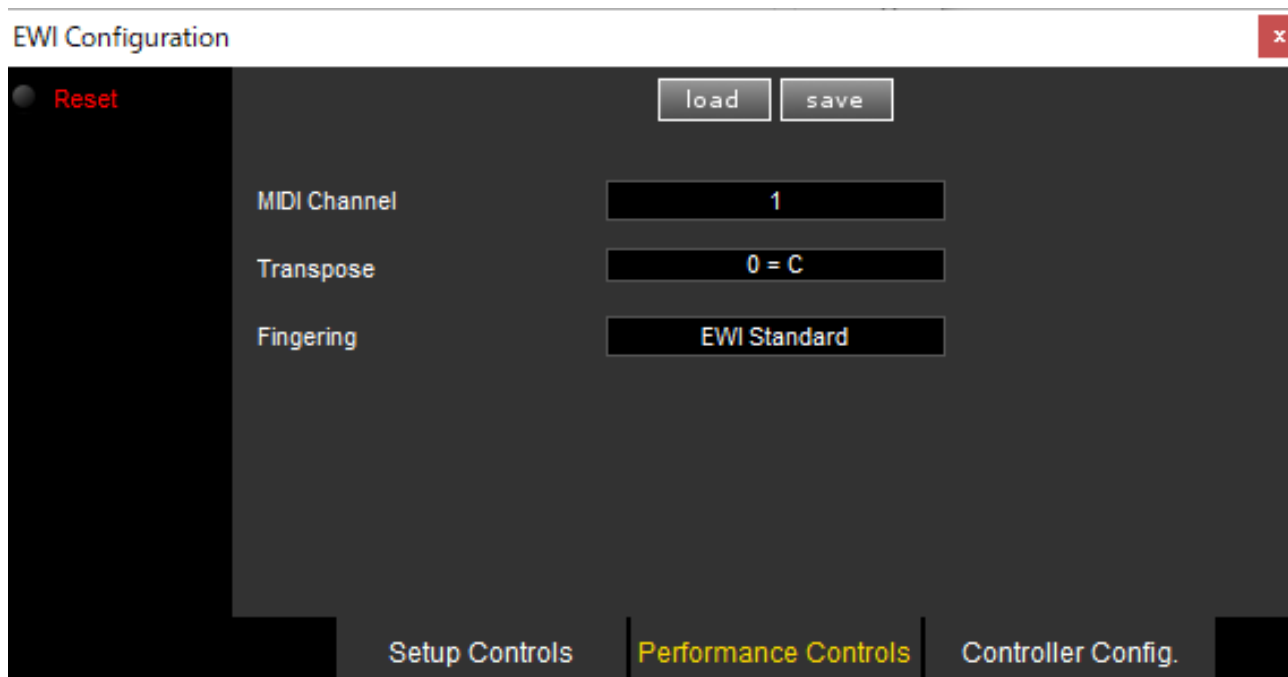
■Bite Gain(バイトゲイン):Controller Configuration タブ内の Bite CC1 と Bite CC2 で選択した CC に紐づけられています。※"Pitchbend Up-Down"および "Pitchbend Down-Up"を除く 2 つの CC アサインのゲインレベル。

■Bite AC Gain(バイト AC ゲイン):バイトセンサーの CC アサイン "Pitchbend Up-Down"および "Pitchbend Down-Up"のゲインレベルを決定します。「Pitchbend Up-Down "および "Pitchbend Down-Up "が使用されていない場合、この設定は影響しません。その他のバイトセンサーの CC アサインはすべて、Bite Gain で制御されます。Bite CC1 と Bite CC2 のアサインは、Controller Configuration タブ内で選択できます。

■Pitch Bend Gain(ピッチバンドゲイン):EWI USB のピッチバンドプレートのソフトウェア上のコントロールのゲインレベルを決定する。高く設定すると、ピッチバンドの感度が高くなります。バンドの感度が高くなります。ピッチバンド・アップ・コントロールとピッチバンド・ダウン・コントロールは、Controller Configuration で選択できます。

■Key Delay(キーディレイ):EWI USB は静電式タッチキーを採用した電子楽器であり、アコースティック楽器に比べてフィンガリング入力への反応が速いため、少し触れただけでも発音してしまふことがありますので、この Key Delay 設定で調整を行います。高く設定すると、鍵盤の反応が遅くなります。(初心者の方は、音の "鳴り"を抑えるため、高めに設定することをお勧めします。中級者であれば、10~12 程度の設定でも十分にきれいな演奏ができます)

■Performance Controls(パフォーマンスコントロール)



■Reset:デフォルトの EWI 設定に戻します。

■Load(読み込み):以前に保存した SysEx ファイルを読み込みます。パフォーマンスコントロールのデータ(このパフォーマンスコントロールタブの設定)のみを含む。

■Save(保存):現在のパフォーマンスコントロールデータを SysEx ファイルとして保存します。これにより、このパフォーマンスコントロールタブの設定のみが保存されます。Aria ではさまざまな SysEx ファイルを保存できるので、保存ファイルの名前を明確にしておく、どのような種類の設定か(つまりどこでロードできるか)すばやく確認ができ、便利です。

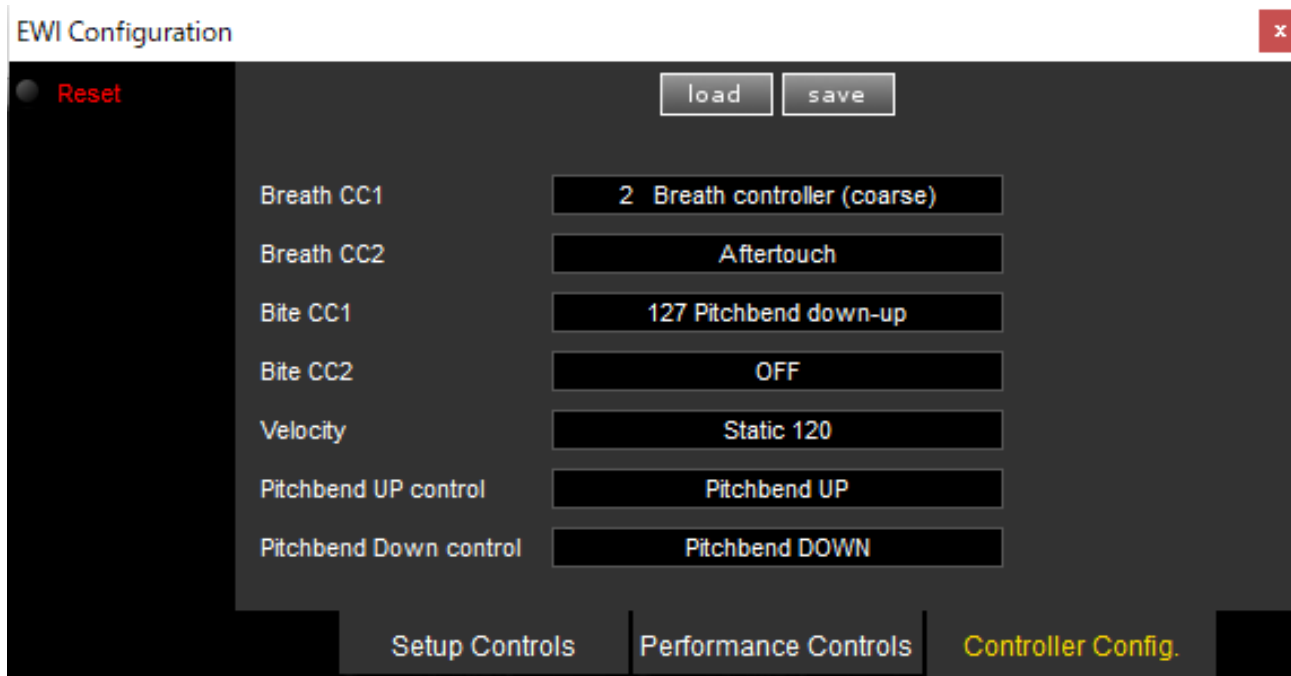
■MIDI チャンネル:ARIA メイン画面上の各レイヤー設定が「-OMNI-」ではなく独自の MIDI チャンネル(レイヤー1 の場合 CHN:01)に設定されている場合、その各レイヤーで設定した MIDI チャンネルとこの番号を一致させることで、そのレイヤーの楽器音を演奏することができます。デフォルトの「-OMNI-」設定の場合は、全ての MIDI チャンネル情報を受け取り発音します。

■Transpose(移調):最大で 1 オクターブ上(+12 半音)または 1 オクターブ下(-12 半音)まで移調することができます。

■Fingering(運指):ソフトウェアに搭載されている EWI USB のフィンガリング設定を決定します。EWI-USB/ARIA の運指はデフォルトの EWI を含めてサクソフォン、フルート、オーボエ、EVI 式の全 5 種類があります。

EWI 以外の運指4種類に関しては後述します。

■Controller Configuration(コントローラー・コンフィギュレーション)



■Reset: デフォルトの EWI 設定に戻します。

■Load(読み込み): 以前に保存した SysEx ファイルを読み込みます。コントロールコンフィギュレーションのデータ(このコントロールコンフィギュレーションタブの設定)のみを含む。

■Save(保存): 現在のコントロールコンフィギュレーションデータを SysEx ファイルとして保存します。これにより、このコントロールコンフィギュレーションタブの設定のみが保存されます。Aria ではさまざまな SysEx ファイルを保存できるので、保存ファイルの名前を明確にしておく、どのような種類の設定か(つまりどこでロードできるか)すばやく確認ができ、便利です。

■Breath CC1(ブレス CC1): EWI USB のブレスセンサーが送信する MIDI データを決定します。デフォルトは "Breath Controller(Coarse) "となっていて、ソフトウェアはこの設定に応じて反応するように設定されているので、これを変更するとインストゥルメントが正しく反応しない可能性があります。

■Breath CC2(ブレス CC2): EWI USB のブレスセンサーが送信する MIDI データを決定する。デフォルトは "Aftertouch "です。ソフトウェア内の一部のインストゥルメントはアフタータッチに反応するように設定されているので、これを変更するとインストゥルメントが正しく反応しない可能性があります。

■Bite CC1(バイト CC1): EWI USB のバイトセンサーがコントロールする MIDI データを決定します(セットアップコントロールと紐づけられています)デフォルトは "Pitchbend Down-Up"(ビブラート)です。

■Bite CC2(バイト CC2): EWI USB のバイトセンサーがどのような MIDI データをコントロールするかを決定する(セットアップコントロールと紐づけられています)デフォルトは "OFF"。

■Velocity(ベロシティ): EWI USB からソフトウェアに送信されるノート/音のベロシティを指定する(音符の「アタック」の強さで、ボリュームではない)初期設定は "Static 120"です。

■Pitchbend Up Control(ピッチベンド・アップ・コントロール): EWI USB のピッチベンドアッププレートがコントロールする MIDI データを決定する。デフォルトは "Pitchbend Up "です。

■Pitchbend Down Control(ピッチベンド・ダウン・コントロール): EWI USB のピッチベンドダウンプレートがコントロールする MIDI データを決定する。デフォルトは "Pitchbend Down "です。

■パラメーターウィンドウ(ARIA 起動後に一番最初に見る画面です。)



赤枠で囲まれたタブが現在選択しているウィンドウです。各タブをクリックしてウィンドウを切り替えます。

■MIX(ミックス)ウィンドウ

- ・ボリューム(Vol):このノブで各レイヤーのボリュームレベルをコントロールします。
- ・パンニング(Pan):このノブで各レイヤーのオーディオの左右のバランスを調整します。ノブの横のボックスに表示されるパーセンテージは、オーディオが右("R")または左("L")寄りに、どれだけ大きくなっているかを示します。センターポジションの場合、ボックスには "C" が表示されます。
- ・リバーブ(reverb):このノブで各レイヤーに適用されるリバーブの量をコントロールします。リバーブの種類は REVERB ウィンドウで設定できます(後述の「リバーブ」ウィンドウを参照)



■CONTROLS(コントロール)ウィンドウ

このウィンドウに表示されるパラメーターは楽器によって異なりますが、代表的なものをご紹介します。

※4つのレイヤーを切り替えるには黄色丸の所をクリックします。

- ・Volume(CC2):このノブは、対応するチャンネルのボリューム・レベル(ポスト・パラメーター)を示します。
- ・Transpose:ここで指定された半音の数だけ、移調します。ボックスをクリックすると、可能な移調のメニューが表示されます。

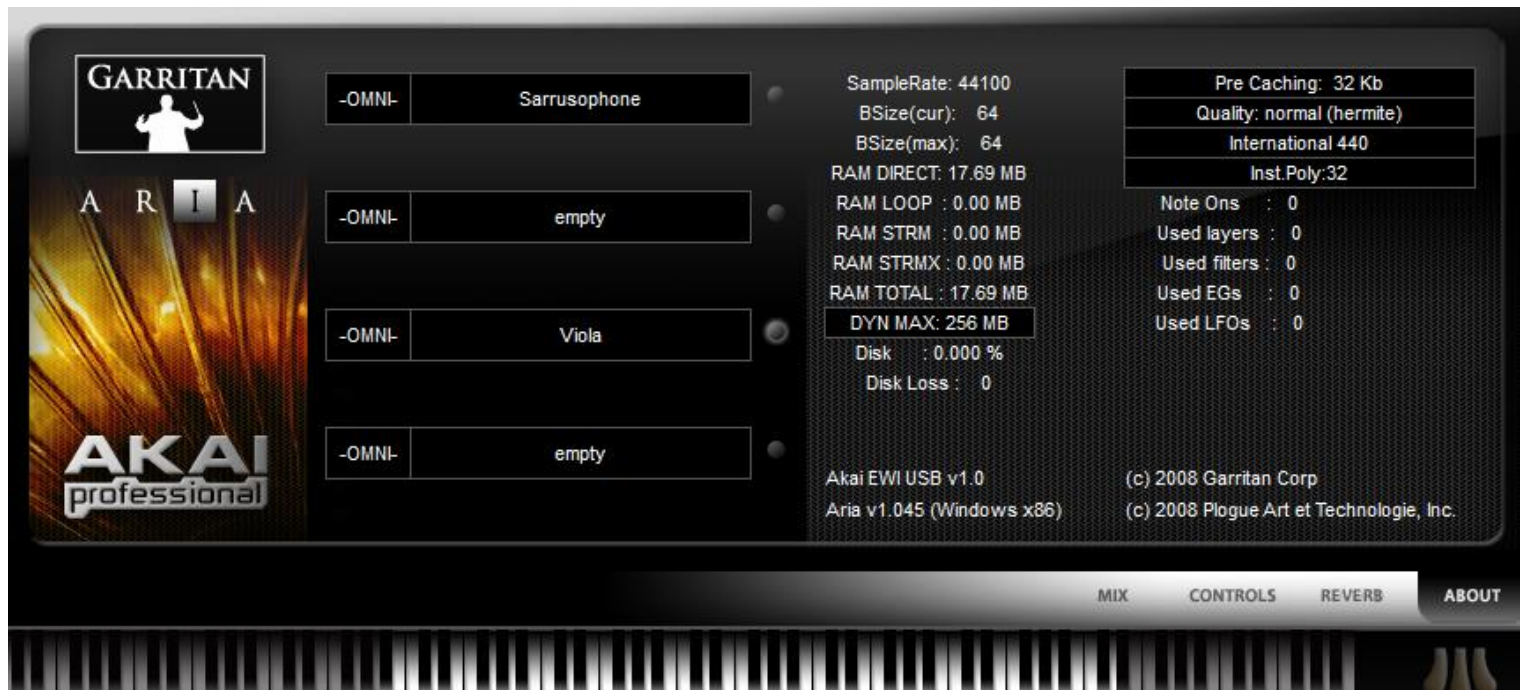
デフォルトは "0" で、EWI で、最大で 1 オクターブ上(+12 半音)または下(-12 半音)に移調することができます。

注:これはソフトウェア上のそのチャンネルで演奏される楽器を移調するだけで、EWI USB のキーを移調するわけではありません。EWI USB の「コンサート」キーを変更するには、
 ●Windows の場合:ソフトウェア左上の Tools から EWI Configuration、
 ●mac の場合:ファインダー左上の EWI USB から EWI Configuration を開き「Performance Controls」で移調を調整してください。本ガイド中 12P を参照。



■REVERB(リバーブ)ウィンドウ

- ・Preset(プリセット): ドロップダウンメニューからリバーブの種類/プリセットを選択することができます。また、各リバーブのパラメーターは自分で調整することもできます。
- ・Status(ステータス): このボックスをクリックすると、リバーブの有効化と無効化が行われます。無効にしてもパラメーター・ノブはそれぞれの位置のままです。
- ・Decay(ディケイタイム): リバーブ(残響音)が減衰する時間を決定します。
- ・Diffusion: 残響音の反響の距離を決定します。拡散の度合いが大きいほど、反響音の間のスペースは狭くなります。
- ・Size: 演奏している"仮想の部屋"の大きさを決定します。設定値を高くすると残響時間が長くなり、より広い部屋の音響効果を再現できます。
- ・Pre-Delay: 音が鳴ってからどのくらいでディレイ(残響)が始まるかを決定します。部屋の広さを感じるには、このプリディレイが重要になります。
- ・Width: リバーブのステレオイメージ幅を指定します。「0%」はモノラル、「100%」はワイドステレオです。100%に近い値を設定することをお勧めします。
- ・Quality: リバーブの品質を設定します。高い設定の場合、CPU 使用率が高く、CPU 負荷が大きくなります(コンピュータのスペックによっては処理しきれず発音に問題が起こる場合があります)
- ・Variation: "仮想の部屋"の新しいバリエーションを作成します(「サイズ」設定で定義されています)。これを調整して、リバーブのサウンドを微調整します。
- ・Reverb Level: リバーブの音量レベルを設定します。原音のボリュームレベルには影響しません。



■ABOUT(アバウト)ウィンドウ

この設定は基本的にデフォルトのままお使いください。リセットでは初期値に戻せません。

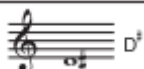
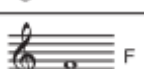
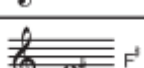
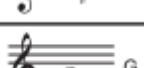
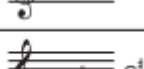
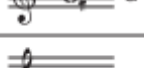
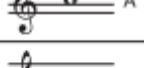
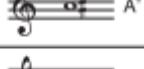
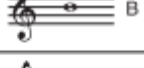
この画面には、ソフトウェアのバージョンと著作権情報等が表示されます。左列の情報は、ソフトウェアの現在の CPU 使用率を示しています。右列には、ソフトウェアの現在の MIDI イベントと設定が表示されます。ボックスをクリックしてドロップダウンメニューを表示し、いくつかの設定を調整することができます。

- ・Dyn Max: ソフトウェアの RAM 使用量の値を決定します。デフォルトは "256MB" となっています。
- ・Pre-Caching: 楽器のサンプルを何個処理してから再生するかを設定します。設定を高くするとレスポンスが遅くなりますが、低スペックのコンピューターを使用している場合はこの設定を高くしてください。デフォルトは "32Kb" です。
- ・Quality: 再生と録音の音質を決定します。初期設定は "Normal (Hermite)" です。
- ・Tuning System: ソフトウェア上の楽器のチューニングシステムを決定します。世界の地域ごとに異なるチューニングがありますが、基本的にはデフォルトの "International 440" をお勧めします。
- ・Inst. Poly: ソフトウェアが演奏できるポリフォニー(複数の音を同時に鳴らすこと)の量を決定します。設定を高くすると、ポリフォニーが大きくなりますが、CPU 使用率が高く、CPU 負荷が大きくなります(コンピューターのスペックによっては処理しきれず発音に問題が起こる場合があります) 初期設定は "32" です。

EWI 方式以外の 4 つの運指について

EWI 方式(リコーダ／サキソフォン準拠)以外の 4 つの運指、EVI 方式(トランペット準拠)、サキソフォン、フルート、オーボエに切り替えて使用することができます。

EVI

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)						OCTAVE SHIFT ROLLERS	
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12		
 C ⁴	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 D	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	○	●	◐	◐	◐	
 D [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	○	●	●	◐	◐	◐	
 E	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	○	◐	◐	◐	
 F	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	○	○	◐	◐	◐	
 F [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	○	●	○	◐	◐	◐	
 G	●	◐	●	●	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	
 G [#]	○	◐	●	●	◐	◐	◐	○	●	●	◐	◐	◐	
 A	○	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	○	◐	◐	◐	
 A [#]	○	◐	●	●	◐	◐	◐	●	○	○	◐	◐	◐	
 B	○	◐	●	●	◐	◐	◐	○	●	○	◐	◐	◐	
 C	○	◐	●	●	◐	◐	◐	○	○	○	◐	◐	◐	

オクターブ・ローラー "Eu" モード

オクターブ・ローラー の動作は他と同じ



オクターブ・ローラー "Er" モード

オクターブ・ローラー の動作が反転します。



サクソフォン

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)							OCTAVE SHIFT ROLLERS
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	
 B ^b	●	◐	●	●	◐	◑	◐	●	●	●	◐	◑	◑	 UP 0 DOWN
 B	●	◐	●	●	◐	◑	◐	●	●	●	◐	◐	◑	
 C	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◑	
 C [#]	●	◐	●	●	◑	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◑	
 D	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 D ^b	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◑	◐	◐	
 E	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	
 F	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	
 F [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	
 G	●	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 G ^b	●	◐	●	●	◐	◐	◑	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 A	●	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 B ^b	●	◐	●	◐	◐	◑	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 B ^b _{alt.}	●	◑	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 B	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 C	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 C [#]	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 D	◐	◐	◐	◐	◐	◑	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	

フルーツ

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)							OCTAVE SHIFT ROLLERS
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	
C	●	☺	●	●	☐	☐	☐	●	●	●	☐	☐	▬	
C [♯]	●	☺	●	●	☐	☐	☐	●	●	●	☐	▬	☐	
D	●	☺	●	●	☐	☐	☐	●	●	●	☐	☐	☐	
D [♯]	●	☺	●	●	☐	☐	☐	●	●	●	▬	☐	☐	
E	●	☺	●	●	☐	☐	☐	●	●	○	☐	☐	☐	
F	●	☺	●	●	☐	☐	☐	●	○	○	☐	☐	☐	
F [♯]	●	☺	●	●	☐	☐	☐	○	○	●	☐	☐	☐	
F [♯] _{alt.}	●	☺	●	●	☐	☐	☐	○	●	○	☐	☐	☐	
G	●	☺	●	●	☐	☐	☐	○	○	○	☐	☐	☐	
G [♯]	●	☺	●	●	▬	☐	☐	○	○	○	☐	☐	☐	
A	●	☺	●	○	☐	☐	☐	○	○	○	☐	☐	☐	
A _{alt.}	●	☺	○	○	▬	☐	☐	●	○	○	☐	☐	☐	
B [♭]	●	☺	○	○	☐	☐	☐	●	○	○	☐	☐	☐	
B [♭] _{alt.}	●	☺	○	○	☐	☐	▬	○	○	○	☐	☐	☐	
B	●	☺	○	○	☐	☐	☐	○	○	○	☐	☐	☐	
C	○	☺	●	○	☐	☐	☐	○	○	○	☐	☐	☐	
C [♯]	○	☺	○	○	☐	☐	☐	○	○	○	☐	☐	☐	

UP0DOWN

If any 1 or more of the K7, K8, or K9 keys are pressed, the note should stay B[♯].

This is the only non-flute fingering that flute players will need to get used to.

オーボエ

NOTE	NOTE KEYS (LEFT)						NOTE KEYS (RIGHT)							OCTAVE SHIFT ROLLERS
	K1	K2	K3	K4	K5	K6	K7	K8	K9	K10	K11	K12	K13	
 B ^b	●	◐	●	●	◐	◑	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 B	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 C	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 C [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◑	◐	
 D	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 D [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◑	
 D [#] alt.	●	◐	●	●	◐	◑	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
 E	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	
 F	●	◐	●	●	◐	◐	◑	●	●	◐	◐	◐	◐	
 F alt.	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	◐	●	◐	◐	◐	
 F alt.	●	◐	●	●	◐	◑	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	
 F [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	
 G	●	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 G [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 G [#] alt.	●	◐	●	●	◐	◐	◑	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 A	●	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 B ^b	●	◐	●	◐	◐	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	
 B	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	◐	
 C	●	◐	◐	◐	◐	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	
 C [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◑	◐	
C [#] alt.	●	◐	◐	◐	◑	◐	◐	●	◐	◐	◐	◐	◐	
D	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◐	
D [#]	●	◐	●	●	◐	◐	◐	●	●	●	◐	◐	◑	
D [#] alt.	●	◐	●	●	◐	◑	◐	●	●	●	◐	◐	◐	

6. EWI をさらに楽しむには

EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイドをご参照ください。 <http://ewi.akai-pro.jp/ewi-with-pc/>

- 01: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[EWI と Mac/PC でできること](#)」
- 02: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[各 EWI の接続方法](#)」
- 03: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[EWI エディターについて](#)」
- 04: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[コントロールセッティング](#)」
- 05: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[MPC Beats インストール手順](#)」
- 06: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[MPC Beats 各設定方法](#)」
- 07: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[ソフトウェア音源の起動と演奏設定](#)」
- 08: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[Tube Synth について](#)」
- 09: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[エディターで EWI の詳細設定を行う](#)」
- 10: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[PC の伴奏にあわせて演奏する](#)」
- 11: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[Tube Synth で音づくり](#)」
- 12: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[付属のソフトシンセを使った音作り\(前編\)](#)」
- 13: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[付属のソフトシンセを使った音作り\(後編\)](#)」
- 14: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[EWI のメンテナンス方法](#)」
- 15: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[エフェクトでさらに音作りをする](#)」
- 16: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[自分の演奏を録音する](#)」
- 17: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[市販のソフトシンセを取り入れる](#)」
- 18: EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[ライブと製作に EWI を取り入れる](#)」

ARIA で演奏を録音するには



画面左下のオーディオレコーダー機能で EWI-USB の演奏を録音することができます。

- ① 赤枠のアイコンをクリックして開いたウインドウで、ファイルの保存先を指定し、ファイル名を入力し保存します。Windows の場合は.WAV ファイル、Mac の場合は.AIFF ファイルとして録音されます。
- ② 青枠の録音ボタンが赤点灯に変わり押せるようになりますので、クリックして録音を開始します。
- ③ 録音が終わったら、緑枠のストップボタンをクリックして録音を停止し、ファイルを保存します。
- ④ ①で指定した場所に音声ファイルが保存されます。新たに録音する場合は、もう一度①から始めます。

録音したファイルを聞く場合は ARIA を閉じてください。

7. トラブルシューティング、よくあるご質問

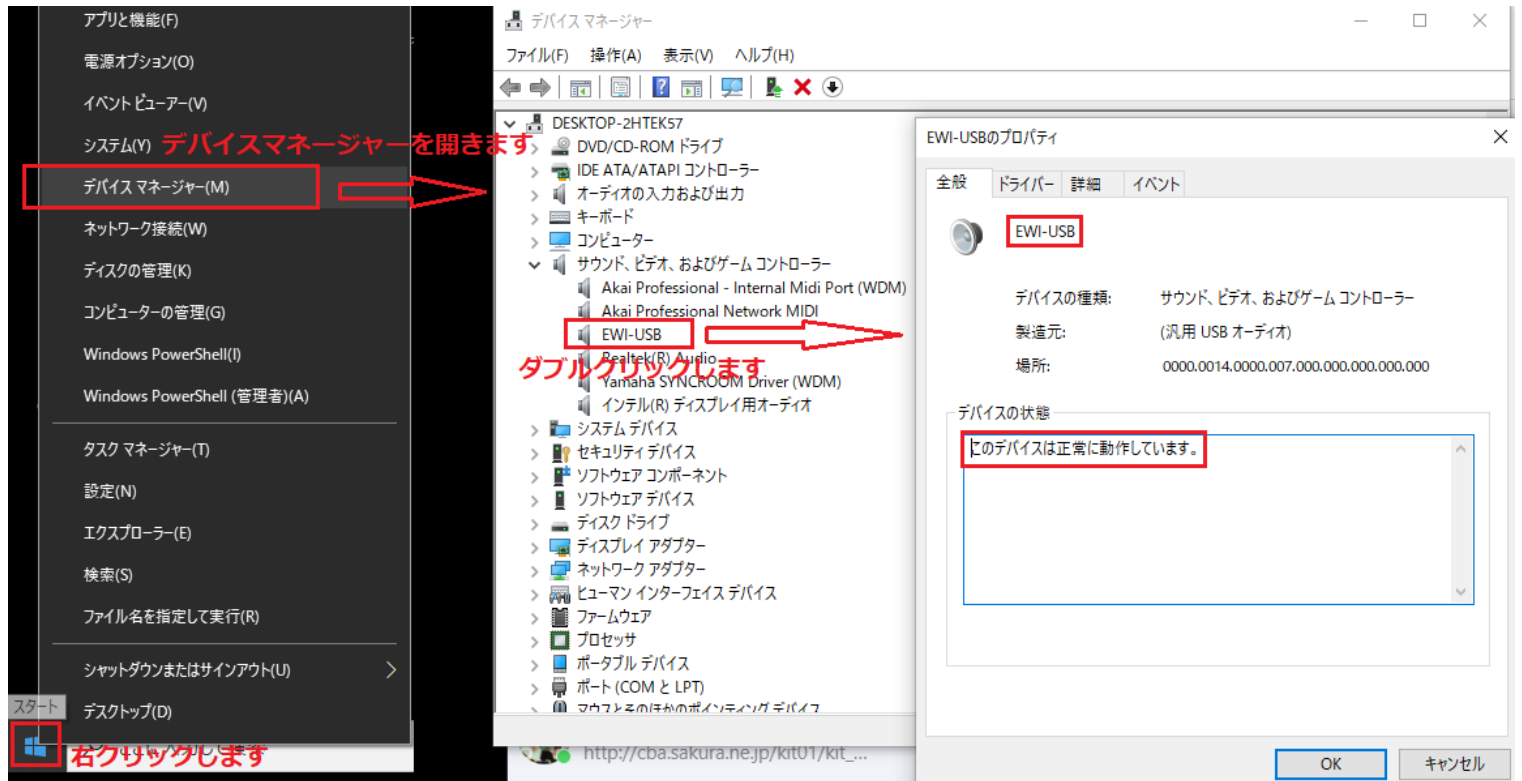
ARIA/Preferences に EWI-USB の名前が出ない場合

■(Win/Mac 共通)EWI-USB/USB ケーブルを接続しなおし、ARIA を再起動させてみましょう。

■Windows のデバイスマネージャーを確認しましょう。

Windows のスタートアイコンを右クリックしてデバイスマネージャーを開き、認識を確認します。

デバイスマネージャー>EWI-USB をクリックしてプロパティを開きデバイスの状態を確認

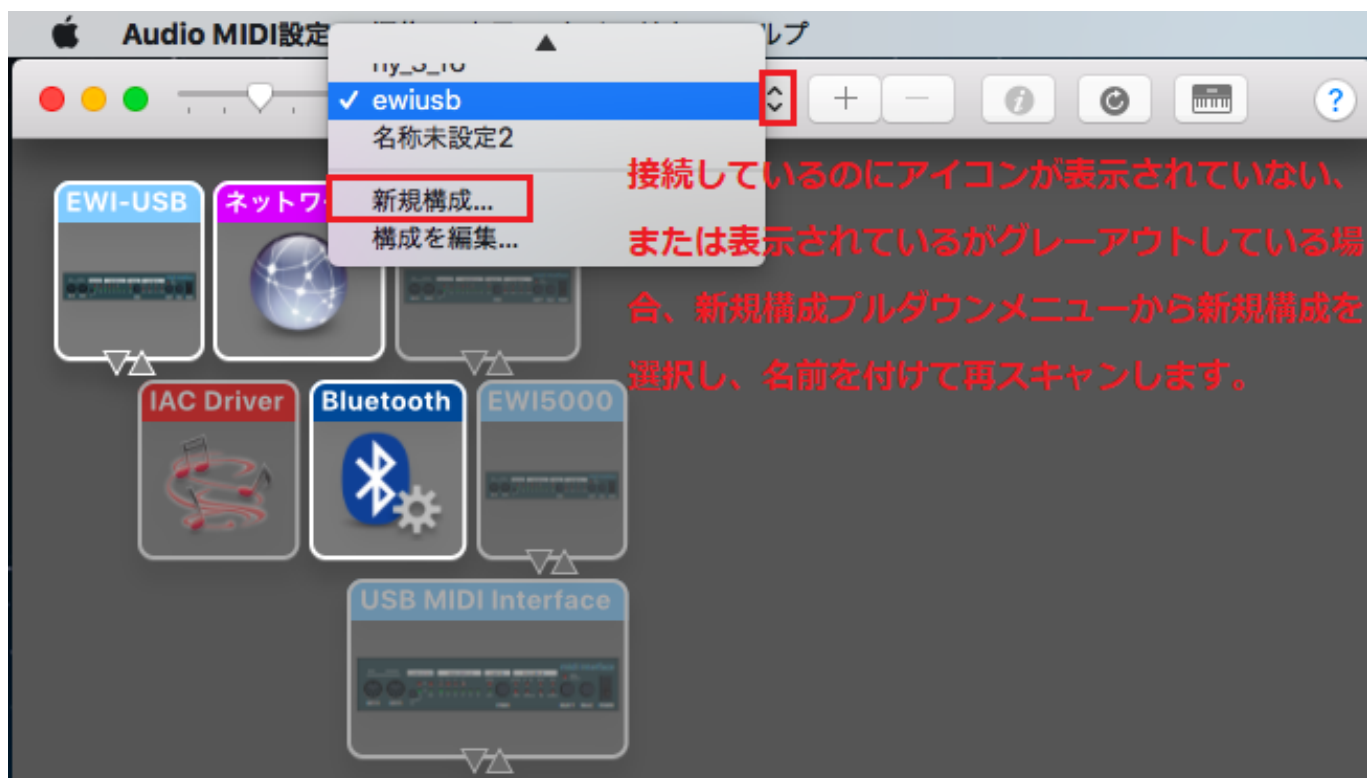


■Mac の AUDIO/MIDI 設定を確認しましょう。

Mac のファイnderから移動>ユーティリティ>AUDIO/MIDI 設定を開く>オーディオ装置ウインドウが開いたら、ファイnderのウインドウから『MIDI スタジオを表示』を選択する。



EWI-USB アイコンが表示されない場合は新規構成から再スキャンを試します。



EWI USB が認識されない(本体 LED が点灯しない)場合

USB ハブを介して接続している場合は、パソコン本体にある USB 端子に直接接続して下さい。

USB ポートが足りない場合で USB ハブを使用する場合は、セルフパワータイプのものを使用してください。

ARIA インストール後、エラーが出て起動しない(Windows)

ユーザー・アカウント名に全角文字が使用されている場合に発生します。
半角英数文字の名前の新規ユーザアカウントを作成してご使用下さい。

演奏時の音階が正しくない場合

●ケース 1: EWI USB の金属部分に触れたまま USB ケーブルで接続している。

EWI USB はパソコンと USB ケーブルで接続された時に、ノートキー、オクターブ・ローラー、プレートなど各センサのキャリブレーション(感度調整)を数秒間行います。その際、金属パーツで構成された上記のセンサー部に触れてしまう事で正常にキャリブレーションすることができず、パソコン側から認識することが出来ない状態になります。USB ケーブルを接続する際は、EWI USB のプラスチック部分(先端の部分など)を持ちながら金属部分には触れない様にしてケーブル接続して下さい。

●ケース 2: 本体のリセットと ARIA ソフトウェアのリセットを行う

[本体のリセット動画](#) / [ARIA ソフトウェアのリセット動画](#)

EWI USB のノートキーの反応が悪いと感じる場合

EWI はメカニカルなスイッチではなく静電式タッチ・キーを採用しています。温度や湿度といった環境の変化や静電気、部屋の床の状態などの理由により、各キー、オクターブローラー等が正しく反応しない場合があります。

その場合は一旦手洗いやハンドクリーム(ベタつきのないもの)にて保湿をお試しく下さい。(フローリング床で裸足等の場合、動作不安定になる場合もございますので、スリッパ等ご使用下さい)

演奏中にノイズが割り込んでくる

ARIA のバッファ設定(Buffer Size)や、サウンド・カード(オーディオインターフェイス)側のバッファの数値を少しずつ大きくし、ノイズが発生しない値まで調整しましょう。ただし「Buffer Size」を大きくしていくことで、少しずつ実際の発音が遅れていきます。これは ARIA に限らず一般的なソフトウェア音源すべてにおける現象で、主にお使いのパソコンに搭載された CPU やサウンドカード(オーディオ・インターフェイス)の処理能力に起因するものです。Buffer Size の数値を大きくしていく事でこのノイズは回避されますが、発音の際の「遅れ(レーテンシ)」を生む原因となります。この現象は上の「Q: 演奏(ARIA のサウンド)が遅れて聴こえる」と関連の深い部分です。可能なかぎり、高速な CPU が搭載されたパソコンと、音楽制作に適したサウンドカードやオーディオインターフェイスをご使用される事をお勧めいたします。

オクターブローラの一番上と一番下が動かない
EWI-USB の仕様になります。

ARIA の Configuration のパラメーターがすべて 0、または OFF になっている。
EWI-USB を接続して、Preference の EWI-USB in/out にチェックが入っているかご確認ください。

EWI-USB のメンテナンスはどのようにしたらいいですか
EWI と PC/Mac の徹底使いこなしガイド「[EWI のメンテナンス方法](#)」をご参照ください。

トラブルシューティングで改善されない、それ以外のお問い合わせ
[こちら](#)のお問い合わせフォームからお送りいただいた内容をスタッフが確認し、順次対応いたします。内容により回答に日数を頂戴する場合や、返信できかねる場合もございます。あらかじめご了承ください。 <https://www.inmusicbrands.jp/support/akaipro/>